

事 務 連 絡
平成27年 1月 6日

(公社)岡山県医師会 御中
(一社)岡山県病院協会 御中

岡山県保健福祉部健康推進課

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）調査結果について

このことについて、別添のとおり報道発表を行いましたので、ご了知のうえ、貴会員に対して周知願います。

なお、SFTSウイルスの検査については、引き続き県環境保健センターで実施しておりますので、SFTSの疑い症例を診察した場合には、所轄の保健所・支所へご連絡願います。

なお、本連絡は、次のホームページに掲載しておりますので、念のため申し添えます。

記

岡山県保健福祉部からの医療安全情報等のお知らせ

<http://www.pref.okayama.jp/hoken/hohuku/tuuchi/top.htm>

岡山県保健福祉部健康推進課
TEL:086-226-7331
FAX:086-225-7283

平成26年12月22日

お知らせ

課名	健康推進課
担当	芦田（英）、芦田（顕）
内線	2709、2717
直通	226-7331

「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）調査結果」を公表します

昨年7月、県内でSFTS患者が初めて確認されたことから、昨年8月末から本年9月までの間、マダニの季節別の種や数、ウイルス保有状況について県内7定点で調査を実施した。

本年3月、マダニの活動が活発となる春を前に、調査を中間的にとりまとめ、県民に広く予防対策等と呼びかけたところである。また、捕獲マダニの一部を提供した国研究班調査結果も本年2月に公表されている。

1. 調査結果

(1) 県内調査の結果（概要）※詳細は裏面

- ①全ての定点、全ての調査月でマダニを捕獲（11種、約3,500匹）
- ②国調査でSFTSウイルス保有例が確認されたマダニ種を広い地域で捕獲
- ③捕獲されたマダニ種は、季節によって多く捕獲される種が異なっており、一年を通じて、春から秋にかけて、秋から春にかけてと様々であった。
- ④捕獲したうち、約1,500匹（約1,400検体）のウイルス保有状況を確認し、フタトゲチマダニ2検体でウイルス陽性を確認

(2) 国研究班のSFTSウイルスの国内分布調査結果（本年2月公表）（抜粋）

- ①九州から北海道の26自治体において、18種4,000匹以上のマダニを調査し、マダニ数が数匹と少なく現時点では判断できなかった3県を除き、調査した全ての自治体（患者が報告されていない自治体を含む）でSFTSウイルス遺伝子を持つマダニが見つかった。
- ②複数のマダニ種から、SFTSウイルス遺伝子が検出された。（キチマダニ、フタトゲチマダニ、ヒゲナガチマダニ、オオトゲチマダニ、タカサゴキラマダニ）

2. まとめ

患者発生地域が拡大し、またそれ以外の地域の定点を含めて、県内定点で国内調査でウイルス保有例が確認されたマダニ種が広く捕獲されたこと、通年にわたりマダニが捕獲されたことから、ウイルス保有マダニが年間通じて県内に分布している可能性が考えられる。

3. 対応

- (1) とりまとめ結果を公表、感染症情報センターHPで情報提供
- (2) 関係団体、市町村を通じて注意喚起の実施（チラシ第4版作成予定）
- (3) 医療従事者を対象とした研修会の開催を検討

県民の皆様へ

マダニは県内に広く分布しているのものと考えられます。活動が活発になると言われている春から秋だけでなく、冬にもマダニは生息しているため、危険を避けるためにも、年間通じて予防対策等を行って下さい。

- ・草むらなどに入るときは肌が露出しないように、長袖、長ズボン、手袋、長靴等を着用し、屋外活動後はすぐ入浴し、体をよく洗い、新しい服に着替えるなどの予防対策をしてください。
- ・マダニに咬まれた場合は、吸着しているマダニを無理に引き抜こうとすると、マダニの一部が皮膚内に残ってしまうことがありますので、できるだけ病院（皮膚科）で取ってもらいましょう。発熱等の症状が認められた場合は、早めに病院（内科）を受診してください。また、その際、マダニに咬まれたことを伝えてください。

表 1 マダニ生息状況とSFTSウイルス保有状況(2013年8月～2014年9月)

保健所・支所	SFTS発生状況 (H26.11月末現在)		調査定点 (調査月)	マダニの生息状況										
	生存	死亡		キチマダニ	ヤマアラシチマダニ	フタトゲチマダニ	タカサゴチマダニ	ヒゲナガチマダニ	オオトゲチマダニ	アカコッコマダニ	ヤマトマダニ	タネガタマダニ	タカサゴキララマダニ	タイワンカクマダニ
備前	—	—	—	—										
東備	2	—	A (9～9)	○	○	◎★	○	○	○	×	×	×	○	○
			B (8～9)	◎	○	◎★	×	◎	○	×	○	○	○	×
備中	—	—	—	—										
井笠	—	1	C (8～9)	◎	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○
			D (9～9)	◎	○	○	×	×	×	○	×	○	○	×
備北	—	—	E (10～9)	◎	○	○	×	×	○	○	○	×	○	×
新見	—	—	—	—										
真庭	—	—	—	—										
美作	—	—	F (10～9)	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
勝英	—	—	—	—										
岡山市	1	—	G (8～9)	◎	○	○	×	◎	○	×	○	○	○	×
倉敷市	—	—	—	—										
計	3	1												

※◎: マダニ確認(100匹以上)、○: マダニ確認(99匹以下)

×: マダニ未確認、—: 調査未実施

★: ウイルス陽性

太字のマダニ名は、全国調査でウイルス陽性となった例があった種

発生数: 4

表 2 マダニ季節的消長(最終報告: 全県7定点)

種類	月												計(匹)
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
キチマダニ	90	59	112	40	52	21	28	198	229	162	223	207	1421
ヤマアラシチマダニ	0	0	0	1	4	4	11	9	9	0	0	0	38
フタトゲチマダニ	0	0	87	112	74	171	145	116	503	64	11	12	1295
タカサゴチマダニ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
ヒゲナガチマダニ	91	134	93	57	28	0	0	0	0	3	48	55	509
オオトゲチマダニ	3	3	11	1	0	0	7	0	19	29	8	19	100
アカコッコマダニ	9	12	20	13	3	0	0	0	0	0	4	8	69
ヤマトマダニ	0	0	3	4	13	3	1	0	0	0	0	0	24
タネガタマダニ	3	0	0	0	1	1	0	2	2	1	1	3	14
タカサゴキララマダニ	0	0	4	4	18	3	9	2	6	2	1	0	49
タイワンカクマダニ	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	4

合計(匹)

太字のマダニ名は、全国調査でウイルス陽性となった例があった種

3524

マダニに注意!

～野外で活動する方へ～

マダニは、県内に広く分布していると考えられます。活動が活発になると言われている春から秋だけでなく、冬も生息しており、年間を通じて咬まれないための予防対策が必要です。



フタトゲチマダニ（成虫：3.5mm）
岡山県環境保健センター提供

マダニに咬まれないために

- ① 草むらなどに入るときには、肌が露出しないように、袖口を絞れる長袖、長ズボン、手袋、足を完全に覆う長靴等を着用しましょう。また、色の薄い服はくっついたダニを見つけやすくなります。
- ② 服の上や肌の露出部分に、防虫スプレーを噴霧しましょう。
- ③ 地面や草むらに直に寝転んだり、腰を下ろしたり、服を置いたりするのはやめましょう。

野外で活動したあとは

- ① すぐに入浴し、体や頭をよく洗い、新しい服に着替えましょう。
- ② 脱いだ衣服はすぐに洗濯するか、ナイロン袋に入れて口を縛っておきましょう。

マダニに咬まれたら

- ① 吸着しているマダニを無理に引き抜こうとすると、マダニの一部が皮膚内に残ってしまうことがありますので、できるだけ病院(皮膚科)で取ってもらいましょう。
- ② 発熱等の症状が認められた場合は、早めに病院(内科)を受診し、野山等で活動したことを伝えてください。

野外にいる吸血性のダニとして、マダニ(1～4mm)の他、小型のツツガムシ(0.5～1mm前後)などが知られています。これらは、咬まれても、ほとんど痛みや痒みを感じません。

これらのダニの中には、病原体を保有しているものもあり、咬まれると、**重症熱性血小板減少症候群(SFTS)**や**日本紅斑熱**、つつが虫病などの病気になり、重症になると死に至ることもあります。

病名	潜伏期間	症状
SFTS	6日～2週間	発熱、倦怠感、食欲低下、消化器症状、頭痛、筋肉痛等
日本紅斑熱	2～8日	発熱、発しん、刺し口、倦怠感等
つつが虫病	5～14日	発熱、発しん、刺し口、倦怠感等

マダニの調査

県では、国の調査にも協力しながら、25年8月末から26年9月まで県内7定点で調査を実施しました。

国の調査でSFTSウイルス保有例が確認されたマダニ種が県内で広く捕獲されたことや、通年にわたりマダニが捕獲されたことから、ウイルス保有マダニが、年間を通じて県内に広く分布している可能性が考えられます。

マダニの季節的消長(7定点の合計)

月 種類	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計(匹)
キチマダニ	90	59	112	40	52	21	28	198	229	162	223	207	1421
ヤマアラシチマダニ	0	0	0	1	4	4	11	9	9	0	0	0	38
フタゲチマダニ	0	0	87	112	74	171	145	116	503	64	11	12	1295
タカサゴチマダニ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
ヒゲナガチマダニ	91	134	93	57	28	0	0	0	0	3	48	55	509
オオトゲチマダニ	3	3	11	1	0	0	7	0	19	29	8	19	100
アカコッコマダニ	9	12	20	13	3	0	0	0	0	0	4	8	69
ヤマトマダニ	0	0	3	4	13	3	1	0	0	0	0	0	24
タネガタマダニ	3	0	0	0	1	1	0	2	2	1	1	3	14
タカサゴキラマダニ	0	0	4	4	18	3	9	2	6	2	1	0	49
タイワンカクマダニ	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	4

太字のマダニ名は、全国調査でSFTSウイルス保有例が確認された種

マダニの「いろは」

マダニは、**卵→幼虫→若虫→成虫**の順に発育しますが、すべてのステージで吸血します。また、ほとんどの場合、蚊に刺された時のような痛みやかゆみはありません。

幼虫



幼虫は
6本足

若虫



成虫



人を咬んだマダニ



写真提供：馬原医院 / 馬原文彦氏